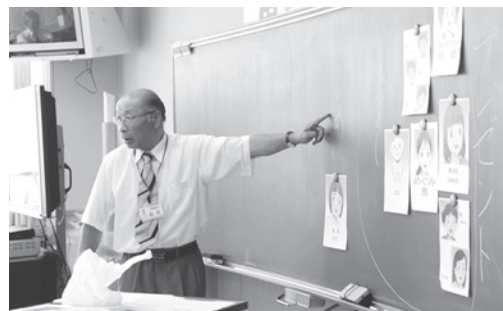


# 人権思想を身につけて

弟子屈小学校で人権教室



人権について分かりやすく話す講師の石川さん

子どもの人権教室は、いじめなどの問題が深刻化する中、全国的な広がりをみせていて、釧路管内ではすべての市町村で開催されています。町内では、奥春別小学校でも開催されています。



教材ビデオを見た後、意見を発表する児童

釧路人権擁護委員協議会主催の人権教室が9月8日、弟子屈小学校（伊藤新一校長）で開催されました。道徳教育に力を入れている同校が同協議会に依頼し、初めて開催されたものです。講師に東北海道子どもの人権専門委員の石川征支朗さんを迎え、弟子屈町人権擁護委員の木村貞親さん、朝日英明さん、小澤修子さんの協力の下、開催されました。この日は、4年生の児童が参加。いじめに関する「プレゼント」という教材ビデオを見た後、それぞれ自分の意見を発表し合い、人権について考えました。児童からは「いじめは悪いこと」「いじめられている人がかわいそう」「最後にはみんな仲良くなつて良かった」などの感想が聞かれ、石川さんからは「いじめを『見ているだけ』もいじめ」「自分がされて嫌なことを言ったりしたりしない」「乱暴な言葉を使わない」などのお話をいただきました。最後に「やさしい心と思いやりの心を持つ」「大切な命を粗末にしない」と確認しました。



川湯の子どもみこしも大活躍（右上）川湯神社前の夜店を楽しむ親子連れ（上）

## 地域にぎわす多彩な催し

弟子屈神社例大祭  
川湯神社例大祭

28日に行われたみこし行列では、本みこしが威勢の良い掛け声とともに練り歩いたほか、川湯保育園、川湯小学校、川湯中学校による子どもみこしも元気に歩きました。また、川湯ばやしも披露されました。29日には、川湯神社境内で子ども相撲大会が行われ、訪れた保護者などから盛んに声援が送られていました。温泉街を練り歩く川湯神社みこし



威勢のいい弟子屈神社みこし（右上）鎧獅子舞にたくさんの観客（上）頑張っている弟子屈子どもみこし（右）



21日に行われたパレードには、本みこしや弟子屈小学校の児童による子どもみこし、鎧獅子舞、パトントワラー弟子屈教室、北響太鼓などが参加し、町内を練り歩きました。途中、数カ所で行われたパトントワラーや獅子舞、太鼓の披露には、訪れた観客からたくさんの拍手が送られていました。また、神社前にはたくさんのお店が並び、家族連れなどでにぎわいました。8月27日から29日には、川湯神社例大祭が行われました。28日に行われたみこし行列では、本みこしが威勢の良い掛け声とともに練り歩いたほか、川湯保育園、川湯小学校、川湯中学校による子どもみこしも元気に歩きました。また、川湯ばやしも披露されました。29日には、川湯神社境内で子ども相撲大会が行われ、訪れた保護者などから盛んに声援が送られていました。温泉街を練り歩く川湯神社みこし

### 町の話



ロータリークラブが障がい者の方を川下りに招待

## 地域の役に立ちたい

今道東建設工業とクニオカ工業  
ロータリークラブによる社会貢献活動



今道東建設工業による美小グラウンド整備

（株）今道東建設工業（今誠代表取締役）の皆さんが9月13・14の両日、社会貢献活動として美留和小学校の環境整備を行いました。2日間で延べ12人が参加し、グラウンドの整備と校庭のアスファルトの補修を丁寧に行いました。また、車両の運搬路に消毒剤を散布するなど、口蹄疫対策にも注意を払い、作業を行いました。作業後、見学していた児童に記念の文房具が贈られ、児童からは礼状が手渡されました。9月15日には、弟子屈ロータリークラブ（今井善昭会長の皆さんが、地域社会奉仕プロジェクトとして、障がいのある方を釧路川源流部の川下りに招待しました。地元のカヌーガイドの皆さんの協力の下、カヌーやネイチャーボートで屈斜路湖から美登里橋までの川下りを楽しんだ参加者の皆さんからは、終始笑顔がこぼれていました。また同日、クニオカ工業（株）岡野文代表取締役の皆さんが、旧母子通園センター跡地グラウンドの整備を行いました。近く泉自治会の運動会が開催されるのを前に、社会貢献活動として行ったものです。作業には10人が参加。グレーダーなどを使用し、丁寧に整地を行いました。

クニオカ工業によるグラウンド整備

### 町の話



観光交通実証運行のバスに乗って摩周湖へ  
ネイチャーボートで釧路川源流部を下る（右）永山在兼氏の顕彰碑（顕花下）

## 交流を通して理解を深める

姉妹都市の日置市一行が来町



トウモロコシもぎにも挑戦



の川下りを行うなど、町内で弟子屈ならではのさまざまな体験を行いました。

中学生姉妹都市交流事業は、1990年に始まりました。今回は、東市来、上市来、両中学校の生徒が、それぞれ弟子屈、川湯の両中学校を訪問。給食やクラブ活動を通して、お互いのまちや学校の紹介を行い、親ほくを深めました。また、観光交通実証運行のバスに乗って摩周湖を訪れたほか、姉妹都市締結のきっかけとなった永山在兼氏顕彰碑やコタンアイヌ民俗資料館を見学。さらに、釧路川での川下りを行うなど、町内で弟子屈ならではのさまざまな体験を行いました。



初日に役場であいさつをする生徒たち

本町の姉妹都市である鹿兒島県日置市の中学生姉妹都市交流派遣団15人が、8月27日の日程で本町を訪れました。24日には役場を表彰訪問し、町職員などの出迎えを受けました。